

市民の目線で税金の使い道をたどす

退職幹部職員の天下り優遇の是正求める!



こんにちは宮原春夫です

第257号
2012年2月12日

発行
日本共産党
川崎市議員団
☎ 200-3360
FAX 245-4140
<http://www.jcp-kawasaki.gr.jp>

その他連絡先
☎ 246-6823



困った時、迷った時は、宮原市議へ



宮原春夫議員は、昨年12月の市議会本会議で一般質問に立ち、川崎市の幹部職員が退職後、出資法人に天下りをして、市の規定を踏み越えた優遇を受けている実態を告発し、市民の目線から容認できないと是正を求めました。

退職幹部職員が天下り先に市の規定を超える13年も

主要出資法人等への川崎市退職者の任期は役員の場合で原則2年以内、「報酬の限度額は年500万円(手当て含む)」となっています。ところが、宮原議員の調査では川崎市のOBが市が出資しているアゼリア株式会社社員の役員として13年半も就任していることが明らかになりました。宮原議員の指摘に対し、砂田副市長は、「13年半は特異な例」であることを認め「今後は方針の周知に務める」ことを約束しました。

天下り職員の任期および報酬額について

(1) 川崎市の指針では、任期は原則として2年を超えない範囲とし、実績に応じて更新できるとしています(但し65歳まで)。成績良好で実績を残している場合は更新することが出来るとしています。

(2) 報酬限度額は、常勤の場合、年額500万円の範囲で、職務に応じて支払われるとなっています。法人代表が65歳を超えているのは、文化財団、身体障害者協会、保健衛生事業団、水道サービス公社で、64

表-1. 出資法人代表者報酬ベストテン

| 法人名 | 年報酬(万円) |
|---------------|---------|
| 1 かわさきファズ(株) | 760.0 |
| 2 みぞのくち新都市(株) | 700.8 |
| 3 川崎アゼリア(株) | 560.0 |
| 4 川崎市住宅供給公社 | 499.8 |
| 5 川崎市公園緑地協会 | 499.8 |
| 6 川崎市産業新興財団 | 499.2 |
| 7 川崎臨港倉庫(株) | 499.2 |
| 8 川崎市水道サービス公社 | 499.2 |
| 9 川崎市消防防災指導公社 | 499.2 |
| 10 川崎市生涯学習財団 | 478.0 |

*川崎市総務局行財政改革室作成資料より

表-2. 顧問・相談役報酬ベスト5

| 法人名 | 勤務 | 年報酬(万円) |
|--------------|------|---------|
| 1 かわさきファズ(株) | 週2日 | 300.0 |
| 2 川崎市住宅供給公社 | 年86日 | 215.0 |
| 3 川崎球場(株) | 週1日 | 180.0 |
| 4 川崎アゼリア(株) | 週2日 | 180.0 |
| 5 川崎市産業新興財団 | 随時 | 120.0 |

*川崎市総務局行財政改革室作成資料より

表-3. 川崎アゼリア(株): 地下街

| 川崎市OBが就任(社長以上) | |
|----------------|----------------|
| 社長 | 1990~1998 田村建夫 |
| | 1998~2006 深瀬幹夫 |
| | 2006~2008 東山芳孝 |
| | 2008~2011 石野厚 |
| | 2011~ 木場田文夫 |
| 会長 | 2006~2009 深瀬幹夫 |
| 相談役 | 2009~2011 深瀬幹夫 |

*川崎市OBが21年間連続社長
*深瀬幹夫氏は特例13年半にわたり社長、会長、相談役就任
*川崎市総務局行財政改革室作成資料より

宮原議員の質問にさっそうく反応のメールが届きました。「宮原様 大変良かったです。一部始終をインターネットで拝聴しました。市が行革といいなから、権力側にいる人には甘い構造と、その実態が明らかになったと思います。今回の指摘は正論ですので、今後につながると思っています」

どのような形で改善されるのか注視するだけでなく、3月の予算会議で取り上げ、市民の皆さんに納得いただけるよう取り組んでいきます。新都市(株)の2ヶ所です。

政務調査費 訴訟の判決下る

市議会の自民、民主、公明、共産党の「政務調査費」に不正利用があったとして、市民団体が返還請求を求めた訴訟の判決が、1月18日、横浜地裁で下されました。判決内容は、自民党に対して5740万円、公明党は3246万円、民主党は2735万円を支払うように請求することを命じました。

日本共産党への請求は「不当行為ないし不当利益を理由として、その請求する金額の支払いを求める部分

は理由がないことから棄却する」と明快に結論付けています。



みなさんの声

市政と議会に届けます



東田公園に時計塔が設置されます

12月下旬、東田町内会長藤村豊さんと役員一同から宮原春夫議員に東田公園に時計塔設置の要望が託されました。

早速、建設緑政局公園管理課に要望したところ「当公園は1000平方メートルあり対象公園なので

尚、各会派は自主返還することになりましたが、返還金に年5%の利子が加算されるため、自民が約8000万円、公明が約4450万円、民主が約3780万円となります。

2月頃設置」するとの回答がありました。



コミュニケーションセンター(さくら)に設置される予定の場所を指す宮原議員

私ひこと



読者からの投稿
杉浦晴子さん

宮原さんの市民目線での議員活動を頼りに

昨年は、大震災と原発事故に明け暮れたような気がします。しかしそれも、だんだんと風化していきそうな気がします。実際、原発は報道を聞くにつけ、收拾するのあまりに長い期間が必要でどうしようもないという無力感に襲われます。

復興は、地元の人たちの必死の努力によってなされてはいるものの、中央政治に目を向ければ、他の国であれば暴動が起きるのが当然

然のような有様です。大震災があったから、高齢化社会だから、増税は当然だといわれてしまえば、何の反論もできませんが、これ以上の負担は未来への希望と働く意欲を国民から奪うことにならないでしょうか? 現に生活保護世帯数は過去最高で、働けば保護を打ち切られると思えば、あるいは働いても手取りでいえば生活保護のほうが多いと思えばみんな働かなくなってしまう。最低の生活を保障しつつ、働いた分は収入が増えるような、新たな制度が必要なのではないでしょうか?

これからさらに必要とされる介護職も、もっと収入がなければ、いくら高い理想を持った若者も続けることはできないでしょう。

視察

シリーズ 川崎市環境委員会 21

東京電力扇島メガソーラー (大型太陽光発電)

環境委員会は、1月20日、昨年12月に営業運転を開始した東京電力扇島メガソーラー(大型太陽光発電)を視察しました。23ヘクタールの土地に6万4000枚のパネルを敷き詰め、最大出力1万3000kW、一般家庭で換算すると約3800軒分に相当し、現時点では国内最大規模です。

先行して営業運転している浮島太陽光発電所は、11ヘクタールに3万8000枚のパネルで7000kW(2100軒分)で、両方で5900軒分の電力がまかなえ、面積は34ヘクタールとなり、東京ドーム7・2個分に相当するものです。

政府の方針は2020年度までには電力10社合計で14万kWを導入する計画で現時点では10万kWの計画があるだけの事です。3月の震災で東電福島第一原発が過酷事故を起こし放射能を封じ込めることもできず、多くの国民に不安な生活を強いていることを考えると、電力会社が先頭に立つと同時に、国が一般住宅の協力によって地球上に無限に存在する再生可能な自然エネルギーに転換する政策が急を要していると思いを強くしました。



北九州市の担当者と懇談する川崎市議員

北九州市の担当者と懇談する川崎市議員。地区は以前、川崎市と同じように国の政策に誘導され港の開発にまい進して岸壁を建造したが船が

次世代エネルギーパーク

北九州市の事業を視察

1月17日、宮原春夫議員はまちづくり・経済・環境チームの一員として北九州市の「次世代エネルギーパーク」の事業について視察を行いました。

北九州市は2007年に第1号として国から認定されたこともあり、若松区響灘(ひびきなだ)地区を中心に、①大規模なエネルギーインフラ、②九州最大級の太陽光発電・風力発電、③市民参加型のエネルギーリサイクル、④エネルギーを地区内企業へ供給、⑤エネルギーの世界最先端研究を掲げて取り組みが進んでいました。

特に、生ごみやミカンの残渣からバイオエタノールを作りだし、ごみ収集車や市の公用車に使っている先進例と、響灘地区は以前、川崎市と同じように国の政策に誘導され港の開発にまい進して岸壁を建造したが船が

来なくて破綻し、遊休施設になっていた岸壁に大型の風力発電がたぐさん並んでいる様子は、川崎の将来を予測しているようであり、税金無駄遣いのチェックをしっかり行わなければ、と改めて感じた視察でした。

大きい日本の消防車にびっくり

川崎市の贈呈車フィロソフィに届く



消防車を確認する関係者

宮原春夫議員が6月の一般質問で、「川崎市で役目を終えた消防車を廃車せず、要望のあるフィロソフィに贈ってはどうか」と提案をしていたものが実現し、昨年11月11日にフィロソフィのスピーック港に到着しました。

現地の関係者の皆さんは、現物を見て「自分たちはこんな大きな消防車は見たことがない」とビックリするやら喜ぶやら腰を抜かしたような状態だったそうです。

放射線量の測定開始

1月23日午後、宮原春夫議員は地域の皆さんと日進町中央公園他5公園で3回目の放射線量測定を行いました。いずれの公園でも0.01マイクロシーベルト以下でした。これからも測定活動を続けたいので、ご希望のところがありませんでしたらご連絡下さい。

地域経済活性化市民生活支援にプレミアム付商品券の発行求める

東京都23区では、地域経済振興を目的に商店街活性化と区民への支援として、プレミアム付商品券発行に商店街と区が一体で取組んでおり、プレミアム分の10%と事務費などを支援している行政区は、今年度15区に上ります。

世田谷区では、5億5000万円規模の商品券発行を2回実施し、区はプレミアム分10%全額と事務費に総額で1億2200万円支援しています。杉並区では総額11億円の発券で、プレミアム分全額と事務費合計1億500万円を補助しています。

川崎市では、「商店街魅力アップ支援事業」の中で、印刷代・広報費などにわずか20%の支援があるだけで、プレミアム分の支援はまったくありません。



春風献上
宮原 春夫 176

12月議会のなかで「地域経済の活性化、市民生活支援につなげるべきではないか」という質問をぶつけましたが、川崎市の経済労働局長は「商品券のプレミアム分を市が負担することは、通常の割引セールの割引分を負担することにも通じた直接的な補助につながり、事業者の競争力や創意工夫を減退させてしまう」と突っぱねました。その反面、市長が国際競争力に勝つためとして船の来ない港に1000億円もつぎ込む政策に固執することは明らかに逆立ちしています。予算議会では引き続き全力で頑張ります。